

# EDIシステムによる流通取引情報の標準化

2019年2月19日



1. 業界ネットワークの構築
  2. 業界標準EDIのメリット
  3. EDIの標準化内容
  4. 業界情報インフラとしての立場
- ご参考: プラネットの基幹EDIサービス

# 業界ネットワークの構築

メーカー・卸売業間でやり取りされている商取引に必要な情報を業界として標準化し、共通のネットワークでデータ交換すること(業界標準EDI)により複数の取引先と統一した業務オペレーションを実現するため



1985年、化粧品日用品メーカー8社と通信事業者のインテックが共同出資し、株式会社プラネットを設立しました。

## 【メーカー8社】

ライオン、ユニ・チャーム、資生堂、サンスター、ジョンソン、日本製紙クレシア、エステー、牛乳石鹼共進社



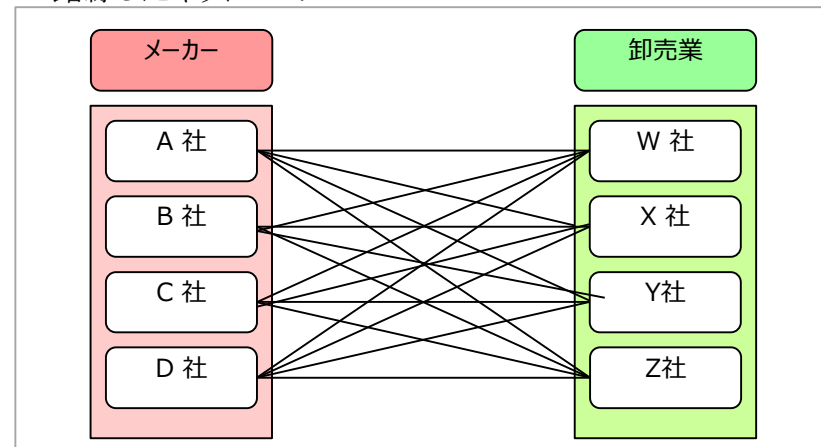
○EDI参加社数 メーカー:683社 卸売業:477社

○主な業界

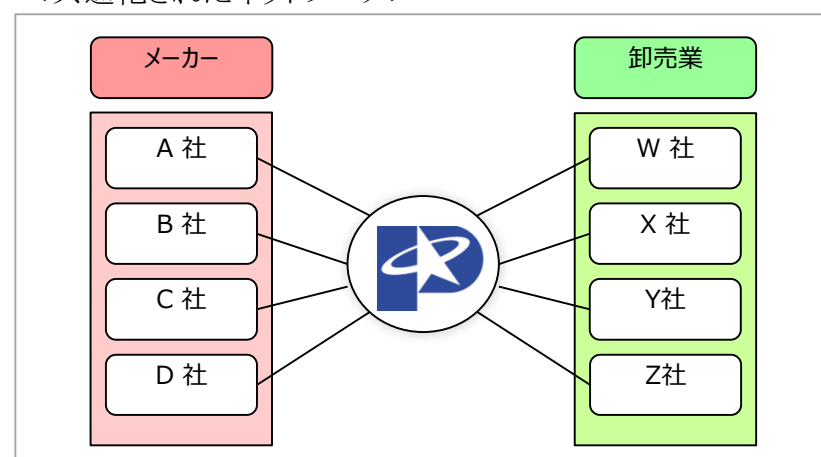
化粧品日用品、ペットフード・ペット用品、OTC医薬品、家庭紙、家庭用品、ベビー衛生、介護、健康食品など

2019年1月現在

< 錯綜したネットワーク >



< 共通化されたネットワーク >

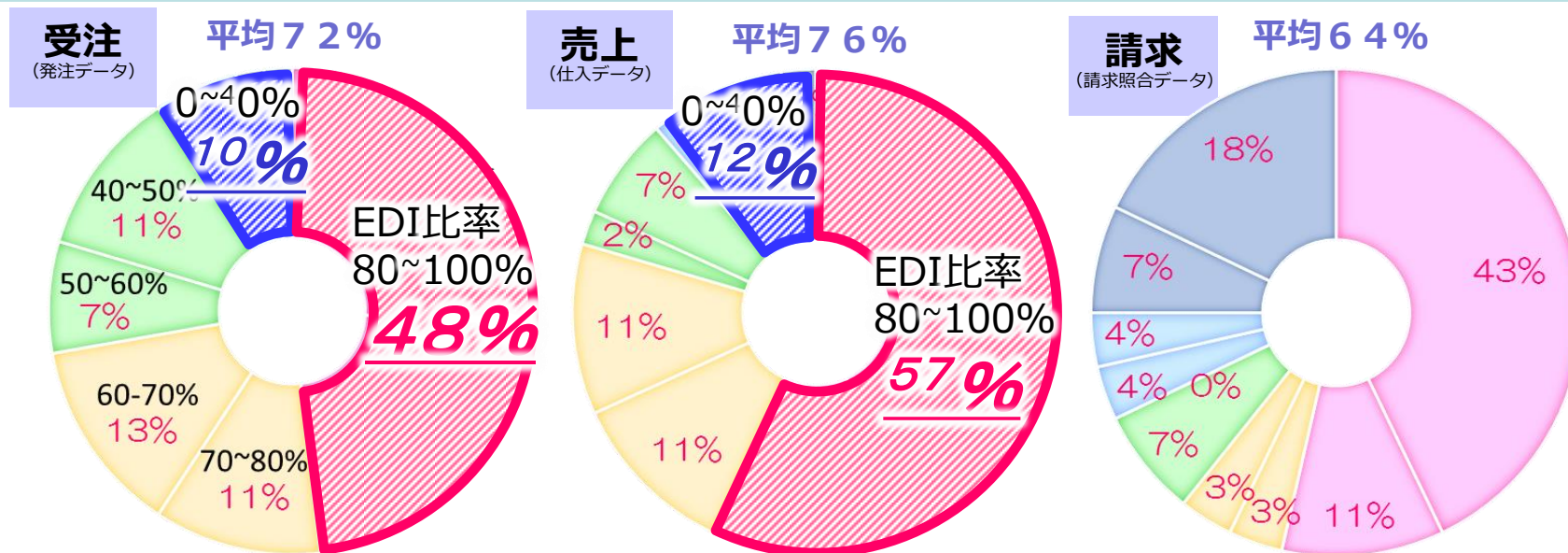


# 業界標準EDIのメリット

1. 業界標準に対応したシステムを1つ準備することで効率的な業務運用が可能になります。
2. 発注書や納品伝票などのペーパーレス化が実現出来ます。
3. 仕入入力や売上入力などの入力作業を劇的に削減することが出来ます。
4. 入力ミスやモレを防止することが出来ます。
5. IT利用によって自動化、スピードアップが実現出来ます。

これらによって、コスト削減が達成されます

## 化粧品日用品業界のEDI比率調査結果



# EDIの標準化内容

## 1. データフォーマット(発注情報、仕入情報、販売情報など)

業際統一伝票に即した仕入データフォーマットを策定し、これをベースに20種類のデータ種を策定。

各社各様のデータフォーマット

得意先A社	発注番号	12345678	商品名	洗剤ABC	納品先	横浜倉庫
得意先B社	納品先	チバパツリュウセンター	発注番号	12345	商品名	石鹼NNN
得意先C社	発注番号	N-0102	納品先	大宮支店	商品名	シャンプーS

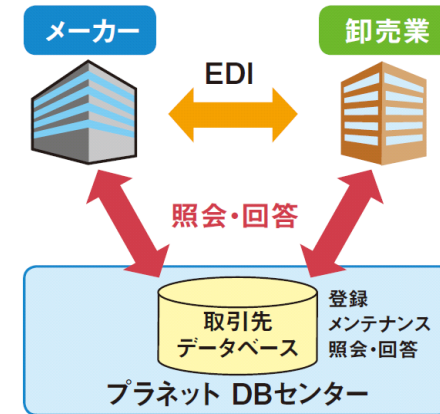
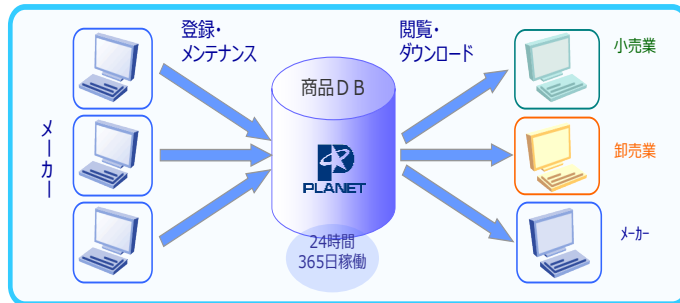
標準化されたデータフォーマット

発注番号	12345678	納品先	横浜倉庫	商品名	洗剤ABC
発注番号	00012345	納品先	千葉物流センター	商品名	石鹼NNN
発注番号	87654321	納品先	大宮支店	商品名	シャンプーS

## 2. データに設定するコードを2つのデータベースで業界として共通利用

①商品を示すコード → JANコード

②卸売業の倉庫を示すコードや小売店舗を示すコード  
→ 標準取引先コード(業界として共通利用)



## 3. 取引区分(売上や返品などの識別)や訂正の方法

## 1. 標準

データフォーマット、各種のコード、業務オペレーションを標準化することで業界の流通機能強化に繋がっている。

## 2. 中立

メーカーと卸売業の中間の立場。 大手企業と小規模企業の中間の立場

## 3. 安全

円滑なサプライチェーンの情報流通のために安定したシステム稼働

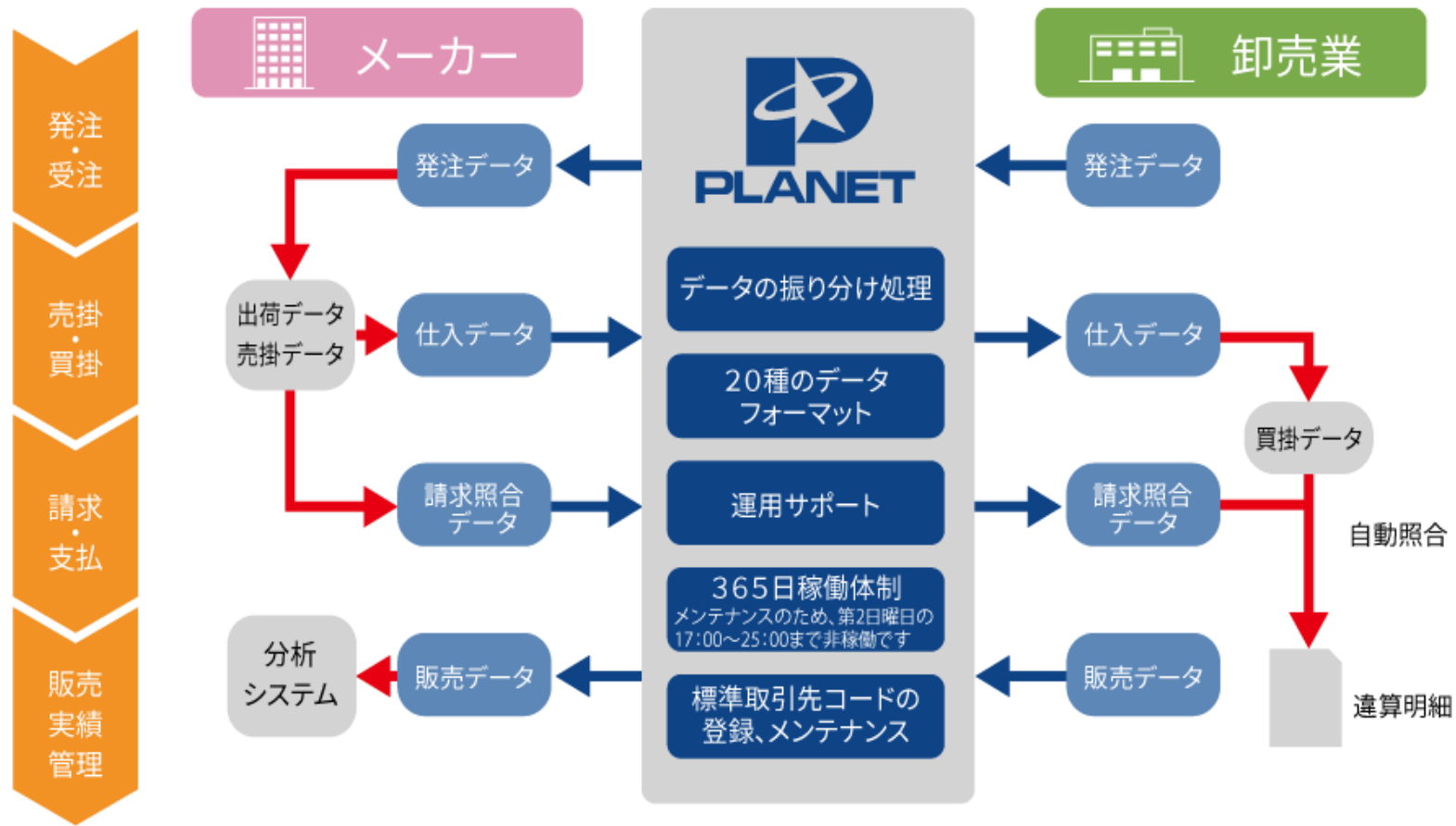
## 4. 継続

開始したサービスを継続して提供する。

## 5. 安価

料金を値下げすることで業界に還元する。

# ○ご参考: プラネットの基幹EDIサービス



・20のデータ種類があり、メーカーと卸売業は業務に合わせて利用する。